

## 議案第 1 号 令和 5 年度事業計画(案)

### 法人本部

「利用者様と歩む未来」をテーマとし、県内全域の福祉向上に向け、事業展開を図るよう指導していきます。

令和 5 年度も積極的に地域貢献事業を展開していきます。特に、補装具の無償メンテナンス、低廉な価格での補装具の販売は重点事業と位置づけ、展開していきます。

県内の特別支援学校との連携も深め、生徒さんたちの教育機会の提供にも力を入れていくこととします。

購買関係につきましては、機器や車輛のメンテナンスを充実させることとします。

政府においては 5 月中旬にコロナウイルスの 5 類引き下げを検討していますが、役員の皆様の意見や他事業所の動向を見極めながら、慎重に対応していくこととします。

年金支給年齢の引き上げなど、社会保障の後退を視野に、高齢者雇用を推進していきます。

今年度につきましても福島信用金庫から1000万円の借り入れをおこし、運転資金に余裕を持たせることとします。

また、年度途中で SBI ホールディングス社債が返還されてきますが、そのうち、500万円は長期運営資金借入金の繰り上げ償還に充てることとし、残金につきましては、一般資金として活用してまいります。

研修事業につきましては、リモート会議を中心に参加し、メーカーとも協議しながら、独自の視点での研修会を開催していただくよう働きかけていくこととします。

また、日本義肢強化、日本シーティング協会、テクノエイド協会など、補装具関係団体の研修事業に職員を派遣し、所内においては、その知識の共有に力を入れます。

福祉人材育成の観点から福島県社協主催の各種研修会に参加することとします。

## 業務部

ウィズコロナの中、油断することなくコロナ感染対策には万全を期し、業務を行います。

医療や福祉の網の目から零れ落ちる人がいないよう、きめ細かく業務を展開していくこととします。

特に、過疎地において補装具を利用する人々が、生活水準を保てるよう、最善の努力を行います。

ハイブリッド型テレワークを最大限有効に活用し、業務職員の負担軽減と効率的な業務展開を両立させます。

従来無償で廃棄処分を引き受けていた、車椅子や車椅子のバッテリーなどについては、一定の条件のもと有料といたします。

そういたしまして、義肢・車椅子をメインとする身障手帳交付事業においては、月平均600万円を、病院・クリニックを中心とする、一般業務での売り上げは1150万円を、それぞれ売り上げること为目标に置き業務を行います。

送料及び出張旅費の徴収につきましては、引き続き検討していくこととします。

## 福島工場

納期の遅れが生じないように、素材の在庫量に気を配るとともに、業務部とも連携を緊密にし、製造関係のローテーションを編成します。

質を落とさず、かつ材料費を縮減させるため、新たな問屋との取引を模索します。また、安易に義肢材料店に頼ることなく、同様の素材を幅広く探し求め、コストの縮減に結びつけることとします。

一つの素材を大量に購入することによるスケールメリットを念頭に、各問屋、メーカーと価格交渉を行います。

製造に係る職員一人一人が、取りしらの減少に留意するよう意識付けを図ります。

人材育成研究支援総室長とも連携し、インターネットを活用し各種

セミナーへ参加し、技術や知識の向上を図ります。

既製品装具からの脱却を図り、より低コストで製作できる、オリジナル装具の開発に力を入れることとします。

そういったしまして、補装具製作に係る材料費は、月平均700万円とし、令和5年度の材料費支出は8400万円を下回るよう、業務を行います。

また、整理整頓を不断に行い、作業しやすい職場環境を作り上げます。

以上